

平成30年度「世界禁煙デー 5/31」



「禁煙週間 5/31～6/6」

禁煙週間のテーマ

「2020年、受動喫煙のない社会を目指して～たばこの煙から子ども達をまもろう～」

喫煙が健康に与える影響は大きい上、受動喫煙の危険性やニコチンの依存性をふまえると、喫煙習慣は個人の嗜好にとどまらない健康問題であり、禁煙はがんや生活習慣病を予防する上で重要です。

そこで、たばこを減らし、命を守ることを目的として、禁煙および受動喫煙防止の普及啓発を積極的に行います。



禁煙の必要性



➤ たばこの健康影響の大きさ

たばこを吸うと肺がんをはじめ、多くのがんにかかりやすいことが疫学的研究により明らかになっています。たばこはがん以外にも、狭心症・心筋梗塞、慢性気管支炎や肺気腫、胃・十二指腸潰瘍などとも深い関係にあります。

➤ 喫煙習慣の本質はニコチン依存症

たばこに含まれるニコチンには、麻薬やアルコールと同様の依存性物質であり、精神依存のほか耐性や離脱症状といった身体依存がみられることが明らかになっています。



➤ 受動喫煙による影響

副流煙には発がん性物質やニコチン・一酸化炭素などの有害物質が主流煙の何倍も含まれています。喫煙者本人だけでなく、受動喫煙により周囲の人にも健康への悪影響が及びます。

➤ 経済的な影響

2005年の1年間で喫煙による経済損失は4.3兆円に上るのに対して、税収や産業の利益や賃金・他業界への波及効果を含めた、喫煙が及ぼす経済的な貢献については2.8兆円にとどまると推計されています。先進国のたばこの価格は、英国・オーストラリアが1箱10ドル以上と最も高く、日本は4ドル程度と先進国の中では最も安い価格です。

「空気のきれいな施設」認証制度

県では、「空気のきれいな施設」認証制度を創設し、たばこの煙にさらされることなく安心して過ごせる場所を増やすため、皆様からの申請・情報提供をお待ちしています。



空気のきれいな施設



認証：福島県

—このマークは澄んだ空気と思いやりの心を表しています—